

令和 5 年 富山県ツキノワグマ出没警報(第 3 報)

10 月 17 日（火）、午後 9 時 40 分頃、富山市江本地内において、女性（79 歳）が自宅敷地内にてツキノワグマによると思われる外傷を負い、死亡する被害が発生しました。このため実施隊員等が現地周辺のパトロールを実施し、周辺住民に注意喚起を行いました。

秋は冬眠を目前にしたクマが、食べ物を求めて一年の中で最も活発に活動します。引き続き、市街地においても本日のような不意の遭遇による被害が起きる可能性が高いと考えられます。

特に、今年度は10月に入ってから、クマの出没が大変多くなっております。人身被害の防止のため、下記の事項に十分注意し警戒をお願いします。

クマに出遭わないために

- ・集落に接近したクマの家屋侵入を防ぐため、住宅・車庫・倉庫等の戸締まりを徹底してください。
- ・クマは朝夕に活発に活動しますので、山里の集落では、その時間帯の外出や農作業等はなるべく控えてください。

クマを引き寄せないために

- ・山里の集落に隣接するやぶや、山間部を流れる河川敷などの草むらの刈り払いを、地域ぐるみで協力して進めてください。
- ・自宅やその周辺では、利用する予定の無い果樹は早めに実を取り除き、又は木を伐採する、生ゴミを処分するなどしてクマの誘引物を除去してください。

県内の山はクマの生息地です。随時、クマの出没箇所を確認し、危険な場所には近づかないようにしてください。

足跡や爪跡、糞を発見した場合は、付近に潜んでいる可能性がありますので、注意してください。また、県ホームページで公表しているクマの出没情報地図「クマっぷ」などを活用し、その地域のクマの出没状況を確認してください。

<https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/yaseiseibutsu/kumap.html>

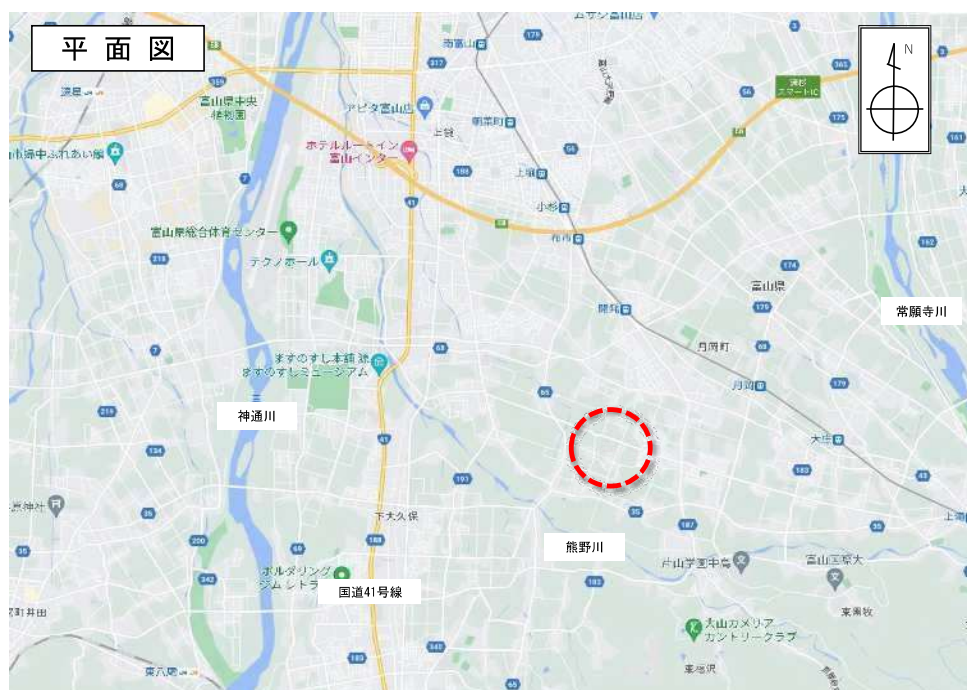
クマに関する相談、情報提供先

富山県自然保護課

TEL 076-444-3397

ツキノワグマ 人身被害位置図

場 所：富山市江本 地内



秋のクマに注意！

秋季は、冬眠を目前にしたクマが、食べ物を求めて一年の中で最も活発に行動します。餌となるドングリ類のほかに、カキやクリなどを求めて山里から平野部に出没する可能性が高くなると予想されますので、厳重な注意が必要です。

県内の山はすべてクマの生息域ですので、仕事や趣味で山に入られる方はもちろんのこと、普段クマを見かけない地域においても、クマの被害に遭わないために、以下のことに気をつけて下さい。

山際～平野部では、引き寄せない、出遭わない対策を実施しましょう！！

◇カキなどの果実を適切に収穫し、利用する予定のないものは早めに取り除く。

(カキの実などは、放置しておくくとクマを呼び寄せることがあるので、適切に収穫しましょう。利用する予定のない果樹は実を取り除き、又は木を伐採しましょう。)

◇未収穫の野菜や、生ゴミを適切に処分する。

(畑の未収穫野菜の回収や家庭での生ゴミの管理徹底など、クマの餌となるようなものを自宅や畑の周りに置かないようにしましょう。)

◇朝夕の不要不急の外出や農作業等を控える。

(農作業はなるべく複数で行い、朝夕の時間帯は避けてください。外出の際は、自宅近くや玄関先であっても、鈴やラジオなどで音を出すようにしましょう。)

山では、出遭わない対策を実施しましょう！！ (県内すべての山にクマは生息！！)

◇クマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。

(糞や足跡、爪跡など痕跡を発見したら、注意して引き返しましょう。)

◇朝夕は山中に入らない。日中も自分の存在を知らせるために、鈴やラジオで音を出すようにしてください。

(クマは朝夕に活発に動きますが、日中も注意と対策が必要です。ヘルメットの着用やクマ撃退スプレーも効果的です。)

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

(近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づくと、母グマは子グマの危険を感じて人を攻撃することがあります。)

◇キノコ採りはほどほどに。

(クマの生息域ですので、夢中になりすぎず、常に周囲の状況確認をしましょう。)

不測の事態に備えて！！

注意をしてもクマと近距離で出遭う場合があります。万が一襲われそうになった場合は、持っているカバンなどで頭部や頸部を守ると、被害を軽減することができます。

◆クマを目撃した場合やクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマに出遭った場合の対処方法などについて、
富山県ホームページで詳しくご紹介しています。

ツキノワグマによる人身被害を防止するために



市街地でもクマの出没に注意しましょう！

クマの生息地は本来山間地域ですが、河川敷などを移動して人里に出没することがあります。

県民の皆さまにおかれましては、クマ出没による被害にあわないよう、以下の事項も参考に十分注意いただきますようお願いします。

1 市街地でクマやその痕跡を発見した場合

クマを目撃した場合は、刺激しないようそっとその場を離れ、すぐに安全な場所（屋内や車内）へ移動してから最寄りの市町村又は警察へ通報してください。

なお、足跡や糞などを見つけたらその場から引き返し、最寄りの市町村又は警察へ通報してください。
また、外出中に近隣での出没情報を入手した場合は、すぐに屋内へ避難してください。

2 住宅やその周辺では、生ゴミを管理するなどクマの誘引物を除去してください。

食べ残しを入れたゴミ箱等の誘引物があるとクマは接近しますので、餌場と思込ませないよう早期に対策を実施しましょう。

地区や町内会など地域ぐるみで取り組むと、広い範囲で誘引物を無くすることができるので非常に効果があります。是非、実行してください。

3 市街地へ続くやぶや、河川敷などの草刈りを、地域ぐるみで協力して進めてください。

クマは、やぶや河川敷の草むらに隠れて移動し、市街地へ出没する場合があります。草刈り等で移動ルートを分断して市街地に近寄らせないようにしてください。出没の際も発見しやすくなります。

4 クマは朝夕に活発に活動しますので、その時間帯の外出はなるべく控えてください。

朝夕の散歩でばったりクマと遭遇するケースも多いので、時間帯に注意いただき鈴やラジオを利用して自分の存在を示すなど、適宜周囲の状況に注意を払ってください。

5 クマの家屋侵入を防ぐため、住宅・車庫・倉庫等の戸締まりを徹底してください。

6 随時、クマの出没箇所を確認し、危険な場所には近づかないでください。

県ホームページで公表しているクマの出没情報地図「クマつぶ」などを活用し、その地域のクマの出没状況を確認してください。

<https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/yaseiseibutsu/kumap.html>

このチラシに関するお問い合わせ先

富山県自然保護課

TEL 076-444-3397